

令和3年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400087	事業の開始年月日	平成19年2月1日
		指定年月日	平成31年2月1日
法人名	ALSOK介護株式会社		
事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢		
所在地	(〒246-0038) 神奈川県横浜市瀬谷区宮沢3-21-25		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名 ユニット数 2ユニット
自己評価作成日	令和3年8月25日	評価結果 市町村受理日	令和3年11月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・新型コロナウイルス感染症対策の為全てが中止になってますが、基本的には町内会に加入し、地域交流を図っています。  
・隣の神明社の掃除や祭りに参加をしたり地域交流しています。  
・入居者様の窓から見えるように花を植え、季節を感じて頂く様にしています。  
・面会は基本中止な為、電話や駐車場に面した部屋を使用し面会して頂いております。  
・家族会、運営委員会、などは中止しています。  
・近隣の障害者施設、グループホーム、老健と災害協定を結び災害時の連携を取っています。(新型コロナウイルス感染症対策の為中止)  
・GH連絡会とは別に瀬谷区高齢者密着型サービス連絡会に参加して、情報交換を行っています。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川県福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	令和3年10月16日	評価機関 評価決定日	令和3年11月1日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

#### 【事業所の優れている点】

◇身体拘束廃止や虐待防止の取り組み  
・身体拘束廃止や虐待防止について委員会や研修を実施している。また利用者個々についての「身体拘束の実情チェックリスト」と、職員個々についての「高齢者虐待防止セルフチェックリスト」を使った「ケアの見直し」を定期的実施して、事業所の理念に沿った「安全・確実・快適な介護」の提供に努めている。  
◇サービス向上に繋がる法人内の協力体制  
・同一法人の近隣事業所とは、合同でのレクリエーションや定期的な連絡会などで連携し、情報共有や職員の交流による自らのケアを見直して、サービスの向上に繋がっている。  
・法人による階層別の研修や資格取得への支援、人事考課制度を活用して、職員が、意欲的に働ける環境づくりをしている。また、法人本部が必要物資を速やかに提供するなど、コロナ対策の支援が行われている。

#### 【事業所が工夫している点】

◇コロナ禍でのレクリエーションの工夫  
・毎日ラジオ体操を行うとともに、コロナ前には講師が来訪し指導していたヨガやリズム体操をリモートで行い、入居者が身体を動かしている。  
・外出は控えているが、人のいない時間帯を見計らって隣接する神社を小人数で散策して外気に触れている。利用者は帰りに事業所前の自動販売機で思い思いに飲み物を買って楽しんでいる。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念をフロアに掲げ職員に周知できるようにしています共有もできていると思われます。	・法人理念を事務室内に、事業所理念「安全・確実・快適な介護の実践」をリビングに掲示している。 ・事業所理念は管理者着任時に見直し、会議でケアの基本として確認し合い、実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事には、できるだけ、参加し、神社の掃除などは、入居者様と一緒に参加しています。	・町内会に入会し、地域の防災訓練や夏祭りに参加している。 ・近隣の障害者や高齢者の施設と防災協定を結び、年1回は、合同で避難訓練を実施している。 ・地域との交流は現在中止しているが、隣接する神社の清掃は、職員が行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	家族の方には家族会や運営推進会議を通じて認知症に対する理解をしていただくよう説明しています。現在は新型コロナウイルス感染症対策の為、紙面上の報告に留まっています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回開催し、事業所の活動報告や事故発生状況等も報告しています。助言があった場合は、速やかに対応しています。今年度は新型コロナウイルス感染症のため、書類のみです。	・家族会代表や町内会役員、地域包括支援センター職員を委員とし、隔月で開催している。会議では、事故発生情報を伝え意見を聞きサービス向上に生かしている。 ・現在は書面会議とし、活動報告書を送付して電話で意向を聞き取っているが、意見は出にくい。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	区役所担当者とは事業所の問題を報告したりして連携しています。瀬谷区地域高齢者連絡会に参加し情報共有をさせていただきます。	・地域包括支援センターには、運営推進会議で情報を伝えている。 ・管理者は瀬谷区地域密着型サービス事業所連絡会で役員を務め、区の担当者とも協力関係を築いている。コロナ対策物資充足状況の問い合わせに答え、物資の提供を受けるなどの連携がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に対する意識向上のためカンファレンスを実施しています。2か月ごとに、拘束委員会を開催し、年2回身体拘束研修を実施します。	・身体拘束廃止について、指針を玄関に掲示し、全職員参加の委員会や研修を、定期的実施している。 ・職員は身体拘束の対象となる行為が行われていないか、利用者一人ひとりのケアを毎月チェックリストを使って見直している。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止に対する意識向上の為に年6回研修を事業所内で行っています。今年度より研修テストを行いより虐待に関する意識向上に努めている	・定期的に虐待防止についての委員会や研修を実施している。 ・「高齢者虐待防止のためのセルフチェック」表を使い、職員は定期的にケアを見直している。 ・マスコミに取り上げられた事例などを使い、検討を行っている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自立支援については会議等でも意識向上のため話し合いや管理者が指示しています。成年後見人についてはご家族様と必要に応じて話しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に契約書を配布し、ご理解していただくようにしています。契約当日は管理者自ら説明してご理解してから署名していただいています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や家族会を通じご要望を伺っています。また契約書等にも外部機関の連絡先をお伝えし、重要事項説明書に記載しています。	・職員は利用者や家族との会話から意見の聞き取りに努めている。現在、家族会や面会は中止しているが電話連絡を頻繁に行い、家族の要望を聞いている。 ・事業所の相談窓口のほか、法人が直接利用者や家族の意見を聞く窓口を設けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各フロア会議および全体会議の場で意見をお聞きして、運営に反映しています。個人面談等を行うようにしています。	・管理者は、面談や会議、また日常的に職員と積極的に意見交換している。 ・パンを嫌う利用者用にパックご飯を常備し、レクリエーションにカラオケを取り入れるなど、職員の考えを生かしている。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を定期的に行い、昇給等に反映し、労働時間についても削減を図りながら働きやすい環境を整えるよう努めています。 職員からの提案（レクなど）があれば、可能になるよう努めています。	・管理者と法人マネジャーを評価者とし、昇給に繋がる人事考課を定期的に行っている。法人は、職員が仕事上の悩みを電話相談できる窓口を設けている。 ・法人内他施設への異動の申し出にも対応している。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今年度は、新型コロナウイルス禍の結果、研修には未参加ですが、職員個々の向上を目的に、職場内の勉強会も実施しています。 私も含め医療などに分からないことなどは聞ける環境づくりに努めています。	・法人作成の階層別研修実施計画を掲示し、職員は自らの申し出や管理者の勧めで受講している。 ・管理者は、職員個々に合ったスキルアップ用のOJTを行っている。 ・現在、事業所外での研修受講は控えている。	・事業所内で内部研修を随時実施していますが、年間の実施スケジュールを作成するなど、計画的に実施されることが望まれます。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣施設との合同レクや合同消防訓練を実施の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の為出来ていません。瀬谷区の事業所などと連携、情報共有しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に職員が、情報共有できるようにしています。細かなことは各居室担当者が主に行います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の調査時や契約時に、ご家族様のご意見やご意向をお聞きして、ご意向に沿うようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の双方のご要望を確認しています。皆さんのご意向と状態を把握して、ケアプランを変更しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員には自立支援の介護を指示しています。職員の個人差はありますが、できる限り自立支援のケアを行っています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が気軽に立寄れるような環境を作れるよう、職員への接遇教育を徹底しています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の了解を得たうえで、友人との面会や電話の取りつぎ、などを実施しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面会時は、居室にお茶を出し寛いで過ごせるよう支援している。</li> <li>・毎月家族に、個々の様子を知らせる「一言通信」を郵送している。現在直接の面会は中止しているが、居室の窓越しの面会や電話での交流を支援している。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	朝はフロアにて全員でラジオ体操をしたり、庭にでられるようにスロープを設置して、フロアで過ごす時間を増やしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて行っていますが、個人情報管理が厳しく難しいところがあります。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の意向を尊重したケアを実施しています。個人の状況にもよりますが、ご本人およびご家族の意向を重視しています。	・職員は丁寧な聞き取りと利用者同士の会話から意向を把握している。把握困難な場合は、表情や様子から把握に努め、必要に応じて家族からも情報を得ている。 ・把握した利用者の思いは申し送りに記録し会議で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報やご家族様から情報を得て、一人ひとりの情報の把握に努めています。新たな情報があった場合は、カンファレンスを通じて情報の共有化に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前にはご家族様への聞き取りで、入居者情報の把握に努めています。既入居者についてはカンファレンスや日々の申し送りにて情を報共有化しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・ご家族の意向とカンファレンスを通して、情報を共有して、ケアプランに反映しています。	・3か月ごとに、アセスメントとモニタリングを行い、介護計画を見直している。 ・ケアプランは、利用者や家族の意向を記録し、毎月のカンファレンスでの職員意見、医療関係者の記録類を参考に作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ごとに生活記録を記入している。その他の気づきなどは申し込みに記入し情報共有化をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出・通院にはご家族様に協力してもらっています。緊急時には、職員で対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今年度は、地域の行事も中止の為未参加です。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の訪問時に生活状態などを細かく相談し、必要に応じて紹介状などもお願いし他院への通院指示を受けています。その他の医療機関受診の際にも生活状態の情報を提供しています。その結果もご家族様と共有しています。	・全利用者が協力医をかかりつけ医とし、月2回内科の訪問診療を受けている。 ・歯科医による月2回の訪問診療と歯科衛生士による月4回の口腔ケアを実施している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問時に日常生活や医療の情報を提供し相談、アドバイスをもらい支援に繋がっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	面会やご家族様を通じ細かな情報の提供を求めています。また、退院後の治療方法や緊急時の対応も含め医療機関との関係強化に努めています。必要に応じて訪問看護や、訪問マッサージも採りいれています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在のところ該当事例はありませんが、家族会や面会時に看取りケアについての情報提供をしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近看取りの実績があり、家族、医師・看護師、職員が連携し、看取り計画書に基づき対応した。</li> <li>・職員の看取り知識のさらなるレベルアップを図ることを課題とし、研修の実施を計画している。</li> </ul>	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防訓練時に応急術の訓練を行う予定が、今年度は新型コロナウイルス禍のため、立会いがなく受講ができない。また、外部での受講も難しいので、開催時期が来たら受講する予定です。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を実施している。また地域のハザードマップを施設内に掲示している。水害地域からは、端れており、避難計画の対象外です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間も含め年2回、避難訓練を実施している。コロナ禍で消防署、地域住民の参加は中止とした。</li> <li>・事業所内に、避難経路とハザードマップを掲示し、また、飲料水や食料品等をリスト化して備蓄管理し、災害発生時に備えている。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳の保持や接遇面について勉強会を通じ職員の資質向上に努めています。個人差がありますが実施しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人格を尊重し、プライバシーを損ねない対応を目指し、勉強会を開催している。</li> <li>・勉強会では、職員間で話かけ方、接遇方法等具体的な事例に基づき話し合い、職員の資質向上を図り実務に反映させている。</li> </ul>	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様本人がお好きなことをしていただける様、支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様本位が基本であるとの基本に則って指導しています。できる限りご本人の意向を重視しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個人によりますが、ご自分で着るものを選ばれています。整容も起床時および入浴時に行っています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブルの配置にも一定の配慮をし、食事中のトラブルを防ぐようにしています。出来る方は職員と共に行っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染防止策として、テーブルを離して配置し、ひとテーブル4人前後で食事をしている。</li> <li>・誕生会やクリスマス会で行事食を提供して、利用者を楽しませている。</li> <li>・利用者はできる範囲で、後片づけや食器拭きを手伝っている。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量は確認しています。食欲低下時や水分摂取困難時は個人の嗜好に応じたものを提供したり医療関係者・家族との情報共有化を図っています。中には高栄養ゼリーを購入し食べて頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後実施しています。また月2回の歯科医・月4回の歯科衛生士が訪問し必要に応じケアをしています。ケアや嚥下状況から、アドバイスをいただいています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	こまめな声かけやトイレ誘導をしています。また排泄パターンやシグナルの把握に努め、自立に向けたケアに取り組んでいます。	・利用者の生活リズムと排泄サインを見ながら声掛け誘導し、トイレでの排泄を心がけている。 ・おむつ、リハビリパンツ、布パンツ、パットを活用し、自立に向けて取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医療関係者とも連携しながら、水分摂取や運動・腹部マッサージなどを行っています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週2回から3回の入浴と入浴剤などを使用したりして楽しんでいただくよう努めています。	・入浴は週2から3回、入浴剤を使用し、楽しんでもらうこともある。 ・職員は、利用者が入浴しやすいよう、また楽しみになるよう話を聞いたり話かけながら支援している。 ・利用者の身体状況に応じてリフト浴の支援もしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は個々の利用者に聞きながら、必要に応じ介助しています。入眠中は定時巡回などにより安心できるよう実施しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報をにより確認しています。場合によっては薬剤師に相談し粉碎などにしてもらっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割については、個人差や好みに応じて持ってもらい、楽しみも個人の好みに応じたレクを実施しています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出については、ご家族様対応でしたが、今後少人数での外出レクを検討中です。散歩などは日常的に実施しています。	・外食、コンビニへの買い物や近隣の川沿いの遊歩道での散歩はコロナ禍で自粛している。 ・人のいない時間を見計らい、車椅子の利用者も一緒に、隣接する神社の境内を散策したり、事業所の裏庭で外気浴を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は管理者管理。少額のお金を持っている入居者様もいる。外出の際は飲み物など買えるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はご家族様からある際は話して頂いたり、手紙は可能な利用者の方には暑中見舞いを家族宛てに書いてもらいました。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様が作成したものを貼ったりトイレなどは清潔が保持できるよう努めています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、従来以上に清掃、消毒を徹底し、更に、定期的な窓開け、オゾン発生器を設置し、衛生的な共用空間となっている。</li> <li>・利用者の季節感・生活感を感じる作品をリビングと廊下に飾り、居心地よく過ごせるようにしている。</li> </ul>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様席の配置などに、配慮しています。 利用者様同士お部屋を行きされるためトラブルがない様に配慮しています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様には新しいものでなく、使い慣れ親しんだ物を持って来ていただいています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室には洗面台、クローゼット、ベッド、タンス、エアコンが備えられている。</li> <li>・利用者は、使い慣れた家具や仏壇、TVなどを持ち込み、壁には家族の写真や絵を飾り、心地良く過ごせるよう工夫している。</li> </ul>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所がわかりやすいようにしたり、各居室前にはご本人の顔写真を掲示し迷ったりしないよう工夫しています。		

事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念をフロアに掲げ職員に周知できるようにしています共有もできていると思われます。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会行事には出来るだけ参加し神社の掃除などは入居者様と参加しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	家族の方には家族会や運営推進会議を通じて認知症に対する理解をしていただくよう説明しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回開催しています。事業所の活動報告や事故発生状況等も報告しています。助言があった場合は速やかに対応しています。今年度は新型コロナウイルス感染症の為書類のみです。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	区役所担当者とは事業所の問題を報告したりして連携しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に対する意識向上のためカンファレンスを実施しています。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止に対する意識向上の為に年6回研修を事業所内で行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自立支援については会議等でも意識向上のため話し合いや管理者が指示しています。成年後見人についてはご家族様と必要に応じ話っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に契約書を配布し、ご理解していただくようにしています。契約当日は管理者自ら説明してご理解してから署名していただいています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や家族会を通じご要望を伺っています。また契約書等にも外部機関の連絡先をお伝えし、重要事項説明書に記載しています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各フロア会議および全体会議の場で意見を聞き運営に反映しています。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を定期的に行い、昇給等に反映しています。労働時間についても削減を図りながら働きやすい環境を整えるよう努めています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今年度は新型コロナウイルス感染症の為研修に未参加ですが、職員個々の向上の為職場内の勉強会も実施しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣施設との合同レクや合同消防訓練を実施の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の為出来ていません。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に職員が情報共有できるようにしています。細かなことは各居室担当者が主に行います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の調査時や契約時にご家族様のご意見やご意向を聞いてご意向に沿うようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の双方にご要望を確認しています。ご意向と状態を把握しプラン変更しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員には自立支援の介護を指示しています。職員の個人差はありますが、出来る限り自立支援のケアを行っています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が気軽に立寄れるような環境を作れるように職員へ接遇教育しています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の了解を得たうえで、友人との面会や電話の取りつぎ、などを実施しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	朝はフロアにて全員でラジオ体操をしたり、庭にでられるようにスロープを設置して、フロアで過ごす時間を増やしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて行っていますが、個人情報管理が厳しく難しいところがあります。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の意向を尊重したケアを実施しています。個人の状況にもよりますがご本人およびご家族の意向を重視しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前情報やご家族様から情報を得て一人ひとりの情報把握に努めています。新たな情報があった場合はカンファレンスを通じて情報の共有化に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前にはご家族等への聞き取りにて把握している。既入居者についてはカンファレンスや日々の申送りにて情報共有化をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・ご家族の意向とカンファレンス行い、情報の共有とケアプランに反映し、作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ごとの生活記録に記入している。その他の気づきなどは申し送りに記入し情報共有化をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出・通院にはご家族様に協力してもらっている。緊急時などは職員で対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今年度は地域の行事も中止の為未参加です。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の訪問時に生活状態などを細かく相談し必要に応じ紹介状などもお願いし他院への通院指示を受けています。その他の医療機関受診の際にも生活状態の情報を提供しています。その結果もご家族様と共有しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問時に日常生活や医療の情報を提供し相談、アドバイスをもらい支援に繋がっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	面会やご家族様を通じ細かな情報の提供を求めています。また退院後の治療方法や緊急時の対応も含め医療機関との関係強化に努めています。必要に応じて訪問看護や、訪問マッサージもいれています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在のところ該当事例はありませんが、家族会や面会時に看取りケアについての情報提供をしています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防訓練時に応急術の訓練を行う予定が、今年度は新型コロナウイルス感染症の為、立会いをしない為受講が出来ない。又外部受講も難しいので開催時期が来たら受講予定。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を実施している。また地域のハザードマップを施設内に掲示している。水害地域は端れている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳の保持や接遇面について勉強会を通じ職員の資質向上に努めています。個人差がありますが実施しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様本人がお好きな事をして頂ける様支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様本位が基本であると指導しています。出来る限りご本人の意向を重視しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個人によりますが、ご自分で着るものを選ばれています。整容も起床時および入浴時に行っています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブルの配置にも一定の配慮をし、食事時のトラブルを防ぐようにしています。出来る方は職員と共に行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量は確認しています。食欲低下時や水分摂取困難時は個人の嗜好に応じたものを提供したり医療関係者・家族との情報共有化を図っています。中には高栄養ゼリーを購入し食べて頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後実施しています。また月2回の歯科医・月4回の歯科衛生士が訪問し必要に応じたケアをしています。ケアや嚥下を見て頂きアドバイスを頂いています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	こまめな声かけやトイレ誘導をしています。また排泄パターンやシグナルの把握に努め自立に向けたケアに取り組んでいます。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医療関係者とも連携しながら、水分摂取や運動・腹部マッサージなどを行っています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週2回から3回の入浴と入浴剤などを使用したりして楽しんでいただくよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は個々の利用者に聞きながら必要に応じ介助しています。入眠中は定時巡回などにより安心できるよう実施しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報をにより確認しています。場合によっては薬剤師に相談し粉碎などにしてもらっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割については個人差や好みに応じて持ってもらい、楽しみも個人の好みに応じたレクを実施しています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出についてはご家族様対応でしたが、今後少人数での外出レクを検討中。散歩などは日常的に実施しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は管理者管理。少額のお金を持っている入居者様もいる。外出の際は飲み物など買えるように支援している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はご家族様からある際は話して頂いたり、手紙は可能な利用者の方には暑中見舞いを家族宛てに書いてもらいました。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様が作成したものを貼ったりトイレなどは清潔が保持できるよう努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席の配置などに配慮しています。利用者様同士お部屋を行きされるためトラブルない様に配慮しています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様には新しいものでなく使い慣れしんだ者を持って来て頂く。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所がわかりやすいようにしたり、各居室前にはご本人の顔写真を掲示し迷ったりしないよう工夫しています。		

# 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム  
みんなの家・横浜宮沢

作成日 令和3年11月3日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	事業所内研修が出来てなく、スケジュール管理が出来ていない。	年内に感染症、看取りの研修を行うのでスケジュールを組んでいく。	事業所内研修の充実 年間スケジュールを作成し計画的に実施出来る様にして行く。	3ヶ月以内
2	2	コロナ禍もあり地域の人々とふれあいが出来ていない。	緩和されていくのでボランティアの方々や、自治会などに参加していく。	自治会の行事などに参加して行く。	3ヶ月以内
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。